

**2016-2017**

International Liberal Arts Program  
国際教養プログラム

Japanese Studies Program  
日本研究プログラム

**J-PAC**  
Japan Program at Chiba



CHIBA UNIVERSITY

---

## Japan Program at Chiba (J-PAC)

---

J-PACは、これまで20年以上にわたって千葉大学の協定校から数多くの交換留学生を受入れてきました。1年または半年という長くはない留学期間ですが、日本の学生、世界各地から集まる留学生とともに学び、友情を育んだ経験は、参加した人々の人生にとって忘れがたい思い出になっているようです。修了生の中には、千葉大学に再び留学したり、大学卒業後も日本と何らかの関わりを持ってキャリアを築いている人が少なくありません。

J-PAC生が学ぶ西千葉キャンパスは、東京まで電車で約40分という便利な場所にありますが、緑豊かなすばらしい環境でもあります。

皆さんも是非J-PACに参加してみませんか。

Since its start 20 years ago, the J-PAC has welcomed students from Chiba University's partner institutions in great numbers. Despite the short period of one year or six months of stay, their experience of the J-PAC has offered to both participant exchange students and the home students who studied with them, unforgettable memories, and has forged lasting friendships. Many of those who have completed our program decide to come back to Chiba for further studies, or return to work in Japan after graduating from their home university.

The lushly green campus of Nishi-Chiba where J-PAC students attend classes is conveniently located only 40 minutes by train from the center of Tokyo.

We hope that you consider applying to the J-PAC soon!

内 容		CONTENTS	
千葉大学	2	Chiba University	11
プログラムのねらいと特色	3	Japan Program at Chiba (J-PAC)	13
1. 国際教養プログラム		1. International Liberal Arts Program	
2. 日本研究プログラム		2. Japanese Studies Program	
3. プログラム参加者に対する指導		3. Guidance provided for J-PAC students	
授業の紹介	5	Course offerings	16
日本での一年	7	J-PAC year in Japan	18
応募方法／締め切り	9	Recruitment requirements and deadlines	20
奨学金	10	Scholarships	21
J-PACと私 - 学生たちの声	23	Student Voice	22



## 千葉大学

千葉大学は1949年に発足した総合大学で、約14,500人の学部生、大学院生が在籍する、規模、内容とも国立大学法人の上位にある大学です。現在は、国際教養（2016年4月新設）、文学、教育、法政経、理学、医学、薬学、看護、工学、園芸からなる10の学部のほか、大学院として人文社会科学、教育学、工学、融合科学、理学、園芸学、看護学の各研究科および医学薬学府、専門法務研究科が置かれています。また、附属図書館、アカデミック・リンク・センター、総合安全衛生管理機構、医学部附属病院などの施設も充実しています。

### 千葉大学の特徴

- ◆ 「つねに、より高きものをめざして」を理念とし、広い視野をもって何事にも誠実に取り組む国際的な人材の育成を目指しています。そのために、教養（普遍）教育の充実と教育活動の国際化を積極的に進めています。2016年4月に新設される国際教養学部は、国立大学としては初めて開設されるもので、世界が直面するさまざまな問題を幅広く俯瞰的な視点からアプローチする人材を育成することを目的としています。
- ◆ 日本社会のグローバル化を牽引する「スーパーグローバル大学」に選ばれ、文部科学省の重点支援を受けて、英語による授業も年々増えています。留学生の受入れや派遣も積極的に行っており、2015年11月現在800名以上留学生が学んでいます。また、海外の大学との協定等に基づく派遣留学生が国立大学の中で最も多い大学（2013年度）です。
- ◆ キャンパス内にはインターナショナル・サポートデスクが設置されており、留学生の日本での生活をサポートしています。また、西千葉キャンパスのある千葉市は、東京から電車で約40分、成田国際空港から車で約45分のところにあります。気候が温暖で物価も比較的安く、生活しやすいところです。

キャンパスは、メインキャンパスである西千葉地区を中心に、他の2地区（松戸・柏の葉キャンパス、亥鼻キャンパス）に分かれています。

西千葉キャンパス	国際教養学部 文学部、法政経学部、人文社会科学研究科、専門法務研究科 教育学部、教育学研究科 工学部、工学研究科、融合科学研究科 理学部、理学研究科
松戸・柏の葉キャンパス	園芸学部、園芸学研究科
亥鼻キャンパス	医学部、薬学部、医学薬学府 看護学部、看護学研究科

## プログラムのねらいと特色

J-PAC (Japan Program at Chiba) は、千葉大学と大学間交流協定を締結している大学の学部生のうち、日本文化・日本社会に関心を持つ者を対象として行われるプログラムです。

専門を問わず様々な学生を受け入れる「国際教養プログラム」と日本語、日本文化、日本研究を専門とする学生を受け入れる「日本研究プログラム」とがあり、いずれも10月から翌年8月までのプログラムです。ただし、希望すれば10月から2月までの2ターム（秋学期に相当）、または、4月から8月までの2ターム（春学期に相当）参加することも可能です。タームについては7ページを参照のこと。

### 1. 国際教養プログラム

#### (a) ねらい

本プログラムは、日本語の学習経験があり、日本社会・日本文化に興味を持つ学部留学生を対象とするプログラムです。

このプログラムでは、日本を題材としたリベラル・アーツ科目を多数提供しています。千葉大学生や様々な国から来る交換留学生との協働学習を基本とし、日本に対する理解を深めると同時に、自国の文化や社会に対する新たな視点、グローバルな問題に対する複眼的思考力、言語や行動様式の違いを乗り越えて問題を解決していく力を身に付けることをねらいとしています。日本語を学習するだけの語学コースではありません。

#### (b) 特色

・文系の学生だけでなく理系の学生の参加も歓迎します。次の4つの目標に沿って、授業が用意されており、各自の興味・関心に合わせて授業を選択することができます。

- ① 日本社会・日本文化に対する理解を深める。
- ② 千葉大学の特色ある授業に参加し、新しい知見を得る。
- ③ 日本人（学生）との交流を通して異文化理解を促進する。
- ④ 日常生活や大学での学習に必要な日本語を習得する。

・このプログラムは、英語で学ぶ授業、英語と日本語の二言語で学ぶ授業、中級レベルの日本語能力でも学べる授業、日本語で行われる一般の授業の中から、自分の語学力に合った授業を選択することができます。また、アクティブ・ラーニングを活用した授業を行っていることも特色の一つです。様々な形のグループワークを通じて学生同士が協力して学び合い、学生自身が授業を作る役割を担います。

#### (c) 応募条件

応募時に2年生以上で、日本語を教育機関で150時間以上学習していることが必要です。また、日本語能力がN2レベルに達していない場合は、英語による授業を受けられるだけの十分な英語運用能力が必要です。

#### (d) 修了要件

各タームに週6コマ以上の授業を受講し、連続する2つのターム（10月から2月まで、および4月から8月まで）にそれぞれ10単位以上修得した学生には、修了証が与えられます。

## プログラムのねらいと特色

### 2. 日本研究プログラム

#### (a) ねらい

本プログラムは、日本語や日本研究を専攻する学部留学生のうち、日本語で日本について学ぶことを目指す学生を対象とするプログラムです。

外国語として学んできた日本語を実際に用いることで日本語の特質をより深く理解すること、日本人学生および異なる文化・言語を背景とする留学生との協働学習によって複眼的な視点から日本を捉えられるようになることを目指します。さらに、本格的な日本研究を遂行するための基礎となる能力を習得することも目的としています。

#### (b) 特色

- ・自分のレベルに合った日本語科目を受講しながら、日本研究の基礎となる科目を日本人学部生とともに受講することができます。また、各々の専門や日本語能力に応じて、学部の専門科目の中からも授業を選ぶことができます。
- ・各自がテーマを決めて研究を進め、日本語で修了レポートを作成するプロジェクト（特別研究（文系）A・B）や、国立歴史民俗博物館の展示案内シートを母国語で作成するプロジェクト（特別研究（文系）C・D）などのプロジェクト型の科目の履修を通して、知識の習得に留まらない、能動的な学習を経験することができます。
- ・留学生が母国の文化を紹介する「ユニバーサル・フェスティバル」で発表を行ったり、近隣の小学校などで子どもたちと交流を行ったりして、日本語で発信する力を養うとともに、幅広い人間関係の構築を目指します。
- ・日本に関係する特定の分野について研究上の関心を持ち、将来にわたって日本研究を続ける意思がある者は、文部科学省国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）に応募することができます。希望者のうち上位2～3名を千葉大学から推薦します。

#### (c) 応募条件

応募時に2年生以上で日本語能力試験N2相当以上の日本語能力を有している必要があります。

#### (d) 修了要件

各タームに週6コマ以上の授業を受講し、連続する2つのターム（10月から2月まで、および4月から8月まで）にそれぞれ10単位以上修得した学生には修了証が与えられます。ただし、文部科学省国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）の場合は2つのタームに修得すべき単位は9単位以上で、修了レポート（6,000字～9,000字）の作成が必須となります。

### 3. プログラム参加者に対する指導

国際教養プログラムおよび日本研究プログラムに参加する学生（J-PAC生）は、「特別聴講学生」として千葉大学の学部にも所属することになります。

プログラムのコーディネーターが語学としての日本語科目やそれぞれのプログラムで受講を勧める留学生向けの授業科目などについて履修指導を行います。また、日本文化体験プログラムの紹介や生活上の助言、チューターの推薦なども行います。

## 授業の紹介

国際教養プログラム、日本研究プログラムの学生には、千葉大学で開講されている以下の授業を中心に、各自の興味と語学力に合った科目を選択して受講することを勧めます。

留学生用科目・日本語科目以外は基本的に日本人学生との合同授業で、日本人学生の視点や認識とのかかわりの中で学習を進めることができるのが特徴です。

国際教養プログラムの参加者で、日本語力が千葉大学の日本語500以下の学生は、英語で学ぶ授業、日本語と英語の二言語で学ぶ授業の中から各ターム2科目ずつ受講しなければなりません。

下のリストにない科目でも、授業担当教員が認めれば履修できる科目が多数あります。1回の授業はいずれも90分、1タームは8週です。授業内容は別冊子の“Course Descriptions”を参照してください。

以下で\*を付したものは、学部専門科目です。それ以外は、すべての学部生に向けて開講される普遍教育科目です。春学期の開講科目は、変更する可能性があります。

### (1) 日本社会・日本文化に対する理解を深める

	秋学期（第4ターム～第5ターム、 10月～2月上旬）開講科目	春学期（第1ターム～第2ターム、 4月～8月上旬）開講科目
英語で学ぶ授業	日本語入門 日本語文法概説 言語と社会B 人種：日本人とアメリカ社会 グローバル化の中の日本社会と文化A グローバル化の中の日本社会と文化B ゼミナールIb*（国際経済論）	日本語入門 日本語文法概説 言語と社会A 学校教育と公正性 健康と医療の日本文化 逸脱とタブー 社会階層論 グローバルな社会変動 ゼミナールIa*（国際経済論）
日本語と英語で学ぶ授業	バイリンガリズムと言語学習 テレビリテラシー 宗教と社会 教育・社会・不平等 「日本」を英語でプレゼンする	アメリカ映画と日本 「日本」を英語でプレゼンする
日本語で学ぶ授業	日本語の諸相 現代日本人の生活様式A・B 戦後日本の食生活C・D 時事から日本を考えるC・D 日本アジア文化交流史A・B 近代日中の文化と思想を考える 文芸思想論* 多言語多文化接触論b* 国際理解教育演習Ⅱ* 日本の教育事情Ⅱ* 教育記事を読むⅡ*	日本語の文法 日本人の精神・伝統文化A・B 戦後日本の食生活A・B 時事から日本を考えるA・B 日本イメージの交錯A・B 多言語多文化接触論a* 国際理解教育演習Ⅰ* 日本の教育事情Ⅰ* 教育記事を読むⅠ* 日本建築史* 日本の政治*
留学生用科目	特別研究（文系）A 特別研究（文系）C	特別研究（文系）B 特別研究（文系）D 日本研究入門c*

## 授業の紹介

## (2) 千葉大学の特色ある授業に参加し、新しい知見を得る

	秋学期（第4ターム～第5ターム， 10月～2月上旬）開講科目	春学期（第1ターム～第2ターム， 4月～8月上旬）開講科目
英語で学ぶ授業	建築デザインへの招待 環境から考える生活と世界 気候変動とその対応策1・2 都市生活と環境1・2	画像工学の基礎 デザイン科学 リモートセンシングとその応用
日本語と英語で学 ぶ授業	デザイン・プロジェクト・ワーク	
留学生用科目	特別研究（理系）A	特別研究（理系）B

## (3) 異文化理解を促進する

	秋学期（第4ターム～第5ターム， 10月～2月上旬）開講科目	春学期（第1ターム～第2ターム， 4月～8月上旬）開講科目
英語で学ぶ授業	異文化間コミュニケーションB	
日本語と英語で学 ぶ授業	異文化交流演習	異文化間コミュニケーションA 言語文化交流演習
日本語で学ぶ授業	異文化とコミュニケーション*	
留学生用科目		特別研究（文系）E

## (4) 日常生活や大学での学習に必要な日本語を習得する

目標	レベル		1週間あたりの開講時間（コマ）数
日本語で研究活動を行うための高度な日本語能力を養成する	上級	日本語800	4科目（4コマ）～5科目（5コマ）
		日本語700	4科目（4コマ）～5科目（5コマ）
	中級	日本語600	7科目（7コマ）
		日本語500	5科目（7コマ）
		日本語400	6科目（8コマ）
基礎的な日本語能力を養成する	初中級	日本語300	5科目（7コマ）
	初級	日本語200	4科目（6コマ）
		日本語100	4科目（6コマ）

## 日本での1年

### 秋学期（第4ターム・第5ターム）

9月下旬	オリエンテーション・履修登録
10月	秋学期前半（第4ターム）授業開始
11月上旬	大学祭 J-PACバス旅行（日帰り）
11月下旬	ホーム・ビジット
12月上旬	秋学期後半（第5ターム）授業開始
1月下旬	ホーム・ステイ（1泊）
2月中旬	春休み

秋学期（第4ターム・第5ターム）の授業は10月初めに始まり2月上旬まで続きます。

J-PACの学生は、9月下旬の定められた日に千葉大学の国際交流会館（留学生用の学生寮）に入ってください。到着後の数日間にはオリエンテーションに参加します。第4タームと第5タームの間には休みがありません。12月下旬から1月はじめにかけて1週間の冬休みがあります。

### 春学期（第1ターム・第2ターム）

3月下旬	オリエンテーション・履修登録
4月上旬	春学期前半（第1ターム）授業開始
6月上旬	春学期後半（第2ターム）授業開始
8月上旬	期末試験
8月中旬～下旬	帰国

春学期（第1ターム・第2ターム）は4月に始まり、8月初めまで続きます。第1タームと第2タームの間は休みがありません。

### ◎国際交流会館

学生は、千葉大学国際交流会館のシングル・ルームに住むことができます。この部屋にはベッド、机、ミニ・キッチン、シャワーとトイレがあります。家賃は月19,000円<sup>※</sup>です。さらに、入館の際に15,000円<sup>※</sup>を支払う必要があります。国際交流会館は大学から電車で一駅の稲毛にあります。

<sup>※</sup> 金額は変更の可能性があります。

### ◎日本での生活費

食費、電気料金、電話代、寮費などの生活費として毎月約7万円が必要です。その他にテキスト代や旅行のためのお金などもかかります。海外から日本の銀行への送金は、来日後半年間ではできません。プログラム応募者は、一年間の資金計画を立てて申し込むようにしてください。

なお、千葉大学では、原則的に短期留学生の日本でのアルバイトを認めていません。これは、短期留学生のみなさんに勉学に専念していただくためです。

### ◎保険

学生は、国民健康保険のほかに千葉大学の用意する災害傷害保険に入らなければなりません。

### ◎成績証明書

プログラム終了後、千葉大学で履修した科目の成績証明書を発行し、協定大学宛に送付します。学生個人に届くのは10月中旬（10月から2月までのプログラムに参加した場合は4月中旬）になります。帰国後に自分の大学で単位を認めてもらう人は、来日前に担当者とよく打ち合わせをしておいてください。



## 日本での1年

### 日本文化体験プログラム

千葉大学では留学生が学内外の人々と交流し、親睦を深める機会として、日帰りで日本人宅を訪問するホームビジット、1泊2日のホームステイ、茶道や書道などの体験プログラムを実施しています。また、J-PACの参加者を対象とした千葉県内のバス旅行、国立劇場での歌舞伎鑑賞教室への参加などの行事もあります。

### 千葉大学からの派遣留学生との交流

千葉大学から協定大学への派遣留学生は年々増えています。J-PACの学生は、派遣留学から帰国した千葉大学生や派遣留学の準備をしている千葉大学生と交流し、お互いの経験を共有する機会があります。同じ「留学」という経験をした（する）学生と学び合うことによって、ホスト国としての日本を客観的に見たり、自らの留学の意義を考えたりすることができるようになります。

### チューター制度

J-PACの学生一人一人に千葉大学の学生をチューターとして紹介します。千葉大学での最初の友人として、日常生活や大学生活でわからないことがあったら遠慮なく質問してください。

### 日本語支援室

国際教育センターには留学生が気軽に利用できる日本語支援室があり、日本語の教材やパソコンを自由に使うことができます。この部屋には留学生の日本語の勉強や日常生活をサポートする大学院生のチューターが在室しています。

### イングリッシュ・ハウス

キャンパス内にあり、気軽に楽しみながら英語が学べる場所として、国や学部を越えた学生が利用しています。



## 応募方法／締め切り

### 1. 国際教養プログラム・日本研究プログラム

#### 〈応募方法〉

応募できるのは、千葉大学と学生交流に関する大学間交流協定を締結している大学に所属する、応募時に2年生以上の学部学生です。学生交流協定により、単位の互換と授業料等の免除が受けられます。交換期間終了後は、帰国しなければなりません。

学生の選考は千葉大学の選考委員会が学生の成績、留学目的、所属大学の教員の推薦状をもとに行います。学生は所属大学の留学生課を通して、すべての応募書類を以下の連絡先に送付してください。

#### 〈提出書類〉

- (a) 申請書      (b) 学習計画書      (c) 在籍大学の成績表
- (d) 応募者を1年以上知っている教員による推薦状    1通
- (e) 所属大学の日本語教員による日本語能力証明書
- (f) パスポートのコピー    1部      (g) 写真：2枚    サイズ：3cm×4cm

#### 〈スケジュール〉

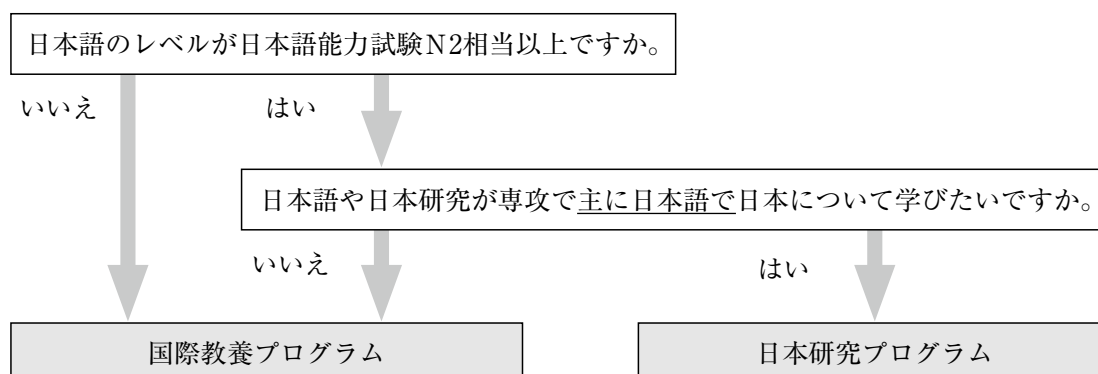
- (1) 2016年10月からのプログラムに参加する場合は、2016年3月10日までに、2017年4月からのプログラムに参加する場合は2016年9月10日までに応募書類を送ってください。
- (2) 千葉大学への応募の結果は5月下旬（4月入学の場合は、11月下旬）までに、あなたの大学の留学生課に通知します。その後、合格者にはGuide for J-PAC Studentsを送り、来日準備の方法を説明します。
- (3) ビザを取るのに必要なCertificate of Eligibilityは、8月末（4月入学の場合は2月末）までにあなたの大学の留学生課に送ります。

### 2. 日本研究プログラムへの応募者が日本語・日本文化研修留学生への推薦を希望する場合

これまでに千葉大学で日本語・日本文化研修留学生が採用されたことのある協定大学など対象となる大学に、1月末ごろに文部科学省の募集要項と「日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書」(Application for Japanese Government (MONBUKAGAKUSHO: MEXT) Scholarship)を送ります。希望者は、文部科学省提出用の申請書と、J-PACへの応募書類（上記1の提出書類(a)～(g)、千葉大学での選考用）の両方を提出してください。

日本語・日本文化研修留学生の在学期間は10月から8月までの11か月間と決まっています。4月からの受入れはありません。

以下のフローチャートを確認しながら、申込むプログラムを決めてください。



## 奨 学 金

### 1. 国際教養プログラム・日本研究プログラム

J-PACが独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の「海外留学支援制度（協定受入れ）」の支援対象となった場合、千葉大学では数名を月額8万円の奨学金対象者として推薦します（金額は変更の可能性があります）。JASSOの奨学金を受けられるかどうかは、10月受入れの場合、6月30日までにあなたの大学の留学生課に通知します。

奨学金を希望しても、JASSOの奨学金が受けられるのはごく一部の学生に限られます。J-PACに受入れられることになっても奨学金が自動的に付与されるわけではないので、注意してください。

### 2. 文部科学省国費外国人留学生（日本語・日本文化研修生）

千葉大学で選考したうえで、2～3名の候補者を文部科学省に推薦します。ただし、千葉大学から推薦しても、必ず採用されるわけではないので、注意してください。

#### □ 連絡先

J-PACに関する問い合わせや連絡は、下記のアドレスにお願い致します。

〒263-8522 日本千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学学務部留学生課

Japan Program at Chiba 担当

Fax: 81-43-290-2198

E-mail: jpac@office.chiba-u.jp



ユニバーサル  
フェスティバル



小学生との交流



Chiba University is a comprehensive university founded in 1949. It hosts approximately 14,500 undergraduate and graduate students and is ranked high both in terms of size and quality among national universities in Japan. Including the newly established (April 2016) College of Liberal Arts and Sciences, there are currently 10 undergraduate faculties at Chiba University: Faculty of Letters, Faculty of Education, Faculty of Law, Politics and Economics, Faculty of Science, School of Medicine, Faculty of Pharmaceutical Sciences, School of Nursing, Faculty of Engineering, and Faculty of Horticulture. There are also a number of graduate schools: Graduate School of Humanities and Social Sciences, Graduate School of Education, Graduate School of Science, Graduate School of Nursing, Graduate School of Engineering, Graduate School of Horticulture, Graduate School of Advanced Integration Science, Graduate School of Medical and Pharmaceutical Sciences and the Law School. Finally, other facilities providing various services are also attached to the university: among them, the University Library, the Academic Link Center, the Safety and Health Organization and the University Hospital.

Chiba University's distinctive features:

- As the University Charter “Always Aim Higher” expresses, Chiba University aims to foster students with a broad vision, who are able to engage sincerely in all endeavors required by life in global society. To achieve this goal the university has been actively enhancing its liberal arts program and has been promoting the internationalization of its curriculum. Chiba University is the first national university to open a College of Liberal Arts and Sciences, which was established in April 2016, and which targets the fostering of adults who will be able to approach world issues from a wide and comprehensive perspective.
- Chiba University has been awarded by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan the status of “super global university,” a name given to educational institutions considered to be at the front line of the globalization of Japanese society. The University has been increasing the number of courses offered in the English language and has been actively promoting the international exchange of foreign and home students. As of November 2015, more than 800 international students are studying at Chiba, and the university holds the 2013 record among national universities for the highest number of students studying abroad through its exchange programs with partner universities.
- The International Support Desk located on-campus provides assistance to international students with their life in Japan. Nishi-Chiba campus is located approximately 40 minutes by train from Tokyo and 45 minutes by car from Narita International Airport. With a warm climate and comparatively cheap prices, you are bound to find life Chiba very enjoyable.



## CHIBA UNIVERSITY

Chiba University has four campuses at Nishi-Chiba, Matsudo, Kashiwanoha and Inohana, all located in Chiba Prefecture.

Nishi-Chiba campus	College of Liberal Arts and Sciences Faculty of Letters, Faculty of Law, Politics and Economics, Graduate School of Humanities and Social Sciences, Law school Graduate School & Faculty of Education Graduate School & Faculty of Engineering Graduate School of Advanced Integration Science Graduate School & Faculty of Science
Matsudo campus Kashiwanoha campus (Matsudo area)	Graduate School & Faculty of Horticulture
Inohana campus	School of Medicine School of Nursing, Graduate School of Nursing Faculty of Pharmaceutical Sciences, Graduate School of Medical and Pharmaceutical Sciences



---

## JAPAN PROGRAM AT CHIBA

---

J-PAC (Japan Program at Chiba) is offered to students from academic institutions with which Chiba University has university-level student exchange agreements, and whose academic interest is in the area of Japanese culture and society. J-PAC includes International Liberal Arts Program, which offers to students irrespective of their area of specialization, and Japanese Studies Program, which is designed for students who specialize in Japanese studies at their universities. Both start in October and end in August of the following year, however, they can also accommodate students who wish to study at Chiba University for two terms either from October to February (i.e. Fall semester) or from April to early August (i.e. Spring semester) in the following year. The period of each term will be explained in page 18.

### **(1) International Liberal Arts Program**

#### **(a) Aims**

This program is for those students who have already acquired some Japanese language skills and are interested in Japanese society and culture. It includes a number of courses in Liberal Arts, where Japan serves both as an example and reference point for multidimensional analysis, and where local students and international exchange students from various countries form joint classes in active collaborative effort. It is envisaged that through such collaborative learning they will deepen their understanding of Japan and gain new viewpoints on their native cultures and societies, and acquire the ability to think about global problems from multiple perspectives and solve them irrespective of language barriers and different behavioral patterns.

#### **(b) Characteristics**

This program welcomes students from Science, Engineering and Humanities. Students can choose subjects according to their interests and concerns. Courses are offered to attain the following four goals:

- ① to deepen understanding of Japanese society and culture;
- ② to participate in courses in the areas of Chiba University's greatest strengths;
- ③ to promote intercultural understanding through exchanges with Japanese students;
- ④ to acquire sufficient proficiency in the Japanese language for daily life and university study.

A number of courses will be offered in English and in plain Japanese, including courses where both languages will be used, so the student will be able to select courses that match his/her language level. The courses offered in this program feature collaborative learning, where classes are split into smaller groups, in which students collaborate and learn from each other while working on a given task, thus making classes of their own.

#### **(c) Conditions of application**

Applicants must be at least second year students and have received Japanese language tuition of at least 150 contact hours at a recognized educational institution. Students whose Japanese proficiency level is below N2 should demonstrate sufficient English ability to communicate and to take courses taught in English.

#### **(d) Completion of the program**

A certificate of completion will be issued to those students who have acquired at least ten credits in each semester and have attended at least six classes in each term.

### **(2) Japanese Studies Program**

#### **(a) Aims**

This program is designed for those international students who specialize in Japanese Studies at their universities, and who wish to study about Japan in the Japanese language. It is envisaged that using Japanese to obtain knowledge in the subjects of their interest will give the students a deeper knowledge of the language itself, and at the same time, through collaborative learning effort in a multicultural environment, will make it possible for them to view Japan from many different perspectives. The students are expected to acquire the fundamental skills essential for conducting individual research into their specific areas of Japanese Studies.

#### **(b) Characteristics**

Students can take Japanese language courses according to their level of proficiency and attend courses in Japanese studies together with Japanese undergraduate students. They can also choose from a variety of specialized lectures and seminars offered at different faculties.

At the same time, students are expected to carry out their own research projects using the Japanese language. They are advised to take Research Work (Humanities) A and B, the courses specifically designed to help them pursue their research projects, and submit a research paper, or to enroll in a project-type course, such as work on preparing an exhibition leaflet at the National Museum of Japanese History in the student's native languages (Research Work (Humanities) C and D). In either case the students gain an active learning experience, which goes far beyond acquiring knowledge in the classroom.

The students are encouraged to participate in the Universal Festival, an event where students from different areas of the world introduce their countries and cultures to the audience, and to engage in joint events with Japanese primary schools in the vicinity of Chiba University. Both above projects help the students practice how to deliver their thoughts in the Japanese language, and are meant to broaden their relationships with the local Japanese community.

Those students who are interested in and want to focus on a specific area of Japanese Studies with the intent to pursue their academic interests in the future may apply for funding (scholarship) from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan (MEXT). Chiba University will recommend two-three top candidates to MEXT.

#### **(c) Conditions of application**

Applicants must be at least second year students and should at least have Japanese language competence equivalent to the pass level N2 of the Japanese Language Proficiency Test administered by the Japan Foundation at the time of application.

#### **(d) Completion of the program**

To be granted a Certificate of Completion at this program one has to have acquired at least ten credits in each semester and have attended at least six classes in each term. MEXT scholarship students have to acquire at least nine credits in each semester and must additionally submit a final essay of 6,000 - 9,000 characters.

## JAPAN PROGRAM AT CHIBA

### (3) Guidance provided for J-PAC students

J-PAC students will be enrolled as “exchange students”. Guidance regarding everyday life in Japan and an array of Japanese language courses are offered by the program coordinators. We will also advise J-PAC students regarding specific program-related courses as well as various cultural programs and activities. We also select tutors for them from among the graduate and undergraduate students at Chiba.

Research Work



Class in English with  
Japanese students

*Nikkensei* closing ceremony





## COURSE OFFERINGS

Students in the International Liberal Arts Program and Japanese Studies Program should select courses that match their interests and language ability from the courses listed below.

Except for Japanese language courses and a number of courses specifically designed for international students, all courses are also offered to Japanese students. This creates a unique international study environment and enables students to broaden their perspectives.

Students in the International Liberal Arts Program whose Japanese language competence is equivalent to Japanese 5xx at Chiba University or lower have to take two subjects in English or in English/Japanese in each term.

In addition to the courses listed below (subjects to change), exchange students may enroll in any other course given at Chiba University with the teacher's permission. There are 8 teaching weeks in a term and the duration of classes at Chiba University is 90 minutes.

Courses marked with \* are specialized courses for faculty students. All other courses are designed as general education courses for regular undergraduate students.

### (1) Courses which deepen understanding of Japanese society and culture

	Fall semester (T4-5, from October to early February)	Spring semester (T1-2, from April to early August)
Courses taught in English	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduction to the Japanese Language</li> <li>• Introduction to Japanese Grammatical System</li> <li>• Language and Culture B</li> <li>• Race: Japanese and the US Society</li> <li>• Globalizing Japan: Society and Culture A</li> <li>• Globalizing Japan: Society and Culture B</li> <li>• Seminar on Global and Japanese Economy (Seminar Ib)*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduction to the Japanese Language</li> <li>• Introduction to Japanese Grammatical System</li> <li>• Language and Culture A</li> <li>• Schooling and Equity</li> <li>• Perspective on Health and Healthcare</li> <li>• Deviance and Taboo</li> <li>• Social Inequality and Stratification</li> <li>• Global Social Change</li> <li>• Seminar on Global and Japanese Economy (Seminar Ia)*</li> </ul>
Courses where both Japanese and English are used	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Bilingualism and Language</li> <li>• Television Literacy</li> <li>• Religion and Society</li> <li>• Education, Societies and Inequality</li> <li>• Presenting about "Japan" in English</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Japanese in American movies</li> <li>• Presenting about "Japan" in English</li> </ul>
Courses taught in Japanese	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Selected Aspects of the Japanese Language</li> <li>• Contemporary Japanese Lifestyles A • B</li> <li>• Postwar Japanese Diet C • D</li> <li>• History of Cultural Relations between Japan and Asia A • B</li> <li>• Understanding Cultural Relations between Modern Japan and China</li> <li>• Literary Theory*</li> <li>• Multilingual-Multicultural Contacts b*</li> <li>• Seminar on International Education II*</li> <li>• Education Affairs in Japan II*</li> <li>• Reading Topics of Education II*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Japanese Grammatical System</li> <li>• Japanese Traditional Culture: The Spirit of Japan A • B</li> <li>• Postwar Japanese Diet A • B</li> <li>• Japan Viewed through Current Events</li> <li>• Images of Japan A • B</li> <li>• Multilingual-Multicultural Contacts a*</li> <li>• Seminar on International Education I*</li> <li>• Education Affairs in Japan I*</li> <li>• Reading Topics of Education I*</li> <li>• History of Japanese Architecture*</li> <li>• Japanese Politics*</li> </ul>
Courses designed specifically for international students	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Research Work (Humanities) A</li> <li>• Research Work (Humanities) C</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Research Work (Humanities) B</li> <li>• Research Work (Humanities) D</li> <li>• Introduction to Japanese Studies c*</li> </ul>

## COURSE OFFERINGS

### (2) Courses in the areas of Chiba University's greatest strengths

	Fall semester (T4-5, from October to early February)	Spring semester (T1-2, from April to early August)
Courses taught in English	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduction to Architectural Design</li> <li>• Environmental Issues: Think Globally and Act Locally</li> <li>• Climate Change Leadership 1・2</li> <li>• Urban Life and Environment 1・2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Fundamentals of Imaging Science</li> <li>• Design Science</li> <li>• Remote Sensing and Its Applications</li> </ul>
Courses where both Japanese and English are used	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Design Project Work</li> </ul>	
Courses designed specifically for international students	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Research Work (Science and Engineering) A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Research Work (Science and Engineering) B</li> </ul>

### (3) Courses promoting intercultural understanding through exchanges with Japanese students

	Fall semester (T4-5, from October to early February)	Spring semester (T1-2, from April to early August)
Courses taught in English	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Intercultural Communication B</li> </ul>	
Courses where both Japanese and English are used	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Japanese Culture from Intercultural Perspectives</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Intercultural Communication A</li> <li>• Language and Culture Exchange</li> </ul>
Courses taught in Japanese	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cross-cultural Communication*</li> </ul>	
Courses designed specifically for international students		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Research Work (Humanities) E</li> </ul>

### (4) Japanese language courses

Aims	Level and course code		Number of subjects per week/ number of classes per week
Advanced language skills required to study or research in Japanese	Advanced	Japanese 8xx	4 subjects/4 classes or 5 subjects/5 classes
		Japanese 7xx	4 subjects/4 classes or 5 subjects/5 classes
	Intermediate	Japanese 6xx	7 subjects/7 classes
		Japanese 5xx	5 subjects/7 classes
		Japanese 4xx	6 subjects/8 classes
Basic language skills	Pre-intermediate	Japanese 3xx	5 subjects/7 classes
	Basic	Japanese 2xx	4 subjects/6 classes
		Japanese 1xx	4 subjects/6 classes

## J-PAC YEAR IN JAPAN

### FALL SEMESTER (Term 4 • Term 5)

Late September	Orientation, Class registration
October	First half of Fall semester (Term 4) begins
Early November	University Festival
	One-day bus trip for J-PAC students
Late November	Home visit
Early December	Second half of Fall semester (Term 5) begins
Late January	Home stay (overnight)
Mid-February	Spring vacation

The fall semester (Term 4 • Term 5) starts in early October and ends in early February.

J-PAC students are required to arrive at Chiba University International House on an appointed day in late September. Orientation will be held in the following week. There is no break between terms. There is a one-week winter holiday which starts in late December and lasts till early January.

### SPRING SEMESTER (Term 1 • Term 2)

Late March	Orientation, Class registration
Early April	First half of Spring semester (Term 1) begins
Early June	Second half of Spring semester (Term 2) begins
Early August	End-of-term examination
Mid-to-late August	Departure from Japan

The spring semester (Term 1 • Term 2) starts in April and ends in August. There is no break between terms.

#### ◎International House

Students stay at Chiba University International House in single rooms, which are furnished with a bed, desk, kitchenette, shower and toilet. The monthly rent is ¥19,000\*. Additionally, a one-time payment of ¥15,000\* is required when moving in. The International House is located in Inage, one short train stop from the university.

\* The amount of the monthly rent and a one-time payment is subject to change.

#### ◎Living expenses in Japan

For your reference, living expenses including meals, electricity and phone bills are about ¥70,000 per month. You will also need to pay for textbooks, travel and other activities. Please note that under the Japanese law you will NOT be able to receive overseas money transfers until you have lived in Japan for six (6) months. Please take this into consideration in your financial planning before you apply for the program.

Chiba University does not allow short-term exchange students to do part-time jobs.

#### ◎Insurance

In addition to the National Health Insurance, students are required to buy the accident insurance policies which are offered at Chiba University.

#### ◎Academic Transcript

After completion of the program, Chiba University will issue academic transcripts for all the students and mail them to their home institutions. Individual students will normally get their transcripts in mid-October (mid-April in case students study at Chiba University from October to February). Those students who want to later have their Chiba university credits recognized by their home institutions are strongly advised to consult their academic supervisors in their countries beforehand.

---

## J-PAC YEAR IN JAPAN

---

### Experience the Culture of Japan Program

International students have the opportunity to attend home visit and home stay programs and interact with people of various social and professional backgrounds. They also have a chance to experience traditional Japanese culture such as the tea ceremony or calligraphy. Other events such as bus tours within Chiba Prefecture or attending kabuki theatre performance at Tokyo's National Theatre are also offered to J-PAC students.

### Exchange with Chiba University students who have studied or plan to study overseas

The number of Chiba University students who go overseas to study at our sister universities keeps growing every year. We encourage them and J-PAC students to get together and exchange their opinions. Having the same experience of studying abroad at different countries as well as hosting international students at their countries enables both groups of students to compare different cultures and educational systems and objectively look at Japan as a host country.

### The tutor system

Each J-PAC student is introduced to a Chiba University student, who becomes his or her fellow-tutor, and often the very first friend at Chiba University who can provide invaluable help in settling down and everyday life. CIRE strongly encourages all J-PAC students to make the most of this unique tutor system.

### Japanese Language Study Room

The Japanese Language Study Room is a facility located at the Center for International Research and Education where international students can find a variety of Japanese language teaching materials and references, use computers and the internet and also find help from Japanese student-tutors who are there on duty during the opening hours.

### English House

English House located on-campus provides a relaxing atmosphere to meet new people and have English conversations.



English House



Japanese Language Study Room



## RECRUITMENT REQUIREMENTS AND DEADLINES

### (1) International Liberal Arts Program & Japanese Studies Program

#### 〈How to apply〉

To be eligible, applicants must be enrolled at an institution of higher education that has an inter-university agreement with Chiba University. Eligible international students will be exempted from the registration, admission and tuition fees at Chiba University and may have their credits obtained at Chiba University recognized at their home institutions. Applicants must have completed at least one year of undergraduate course work at the time of application. Also, students accepted into the program must agree to return to their home institution upon completion of the exchange program.

The selection of participants will be made at Chiba University on the basis of their academic record, personal statement of purpose and two recommendation letters from their current teachers. Applicants should send completed applications to the address shown at the next page through their home institution.

#### 〈Documents to submit〉

(a) Application forms, (b) Plan of study, (c) Academic transcript from the applicant's home institution, (d) 1 letter of reference from an academic teacher at the applicant's home institution who has known the applicant for at least one year, (e) Certificate of Japanese language proficiency by a Japanese language instructor, (f) 1 copy of the photo page of your passport, (g) 2 photos with size : 3 cm x 4 cm

#### 〈Schedule〉

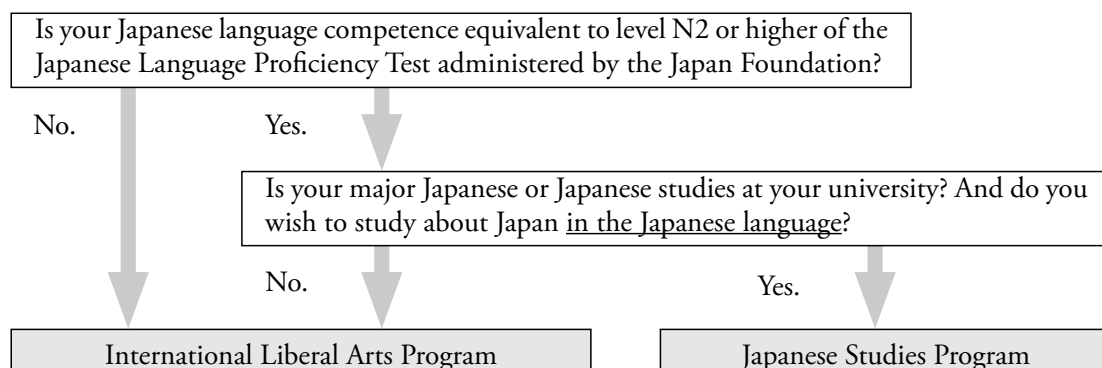
(1) Applicants should send applications by March 10, 2016 for admission to the program beginning in October 2016 and by September 10, 2016 for admission to the program beginning in April 2017.  
(2) We will inform the applicant's institution of the result of application in the end of May 2016 (in late November for applicants for admission to the program beginning in April). Guide for J-PAC Students as well as information on what preparation is necessary before arrival in Japan will be mailed to successful applicants at a later date.  
(3) We will mail a Certificate of Eligibility to the applicant's institution by the end of August (in late February for applicants for admission to the program beginning in April). This certificate is required for Japanese visa application.

### (2) Japanese Government (MEXT) Scholarship

Information on recruitment requirements and application form for the Japanese Government (MEXT) Scholarship will be mailed to our partner institutions from which Chiba University has previously received international students in the Japanese Studies Program at the end of January. Applicants should submit both Japanese Government (MEXT) Scholarship and J-PAC Program application forms and documents (a)-(g) (the same as stated in the section above) to Chiba University.

Note that Japanese Government (MEXT) Scholarship (*nikkensei*) do not have the one-semester option and can only enroll from October to August in the following year (eleven months).

Before you apply, please check the following flowchart.



---

## SCHOLARSHIPS

---

### (1) International Liberal Arts Program and Japanese Studies Program

Applicants may be eligible for a JASSO (Japan Student Services Organization) scholarship of approximately ¥80,000/month (subject to change). Chiba University will normally recommend several eligible candidates for JASSO scholarships. Applicants who are due to commence their study in October will be notified about the JASSO decision by June 30. However, please note that the number of JASSO scholarships is limited and being accepted as J-PAC student does not guarantee your scholarship application will be successful.

### (2) Japanese Government (MEXT) Scholarship (*Nikkensei*)

Chiba University will normally recommend two-three top ranking applicants for a Japanese Government (MEXT) Scholarship. Please note that recommendation from Chiba University does not guarantee that the application will be successful.

☐ For more information or application forms for the J-PAC, please contact:

Japan Program At Chiba

International Student Division, Chiba University

1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba-shi, 263-8522 Japan

Fax: 81-43-290-2198

E-mail: [jpac@office.chiba-u.jp](mailto:jpac@office.chiba-u.jp)



## J-PACと私－学生たちの声 Student Voice



In Japan, I have had the chance to take an amazingly diverse variety of classes. Not only have I taken specific Japanese classes, targeting my most lacking areas (vocabulary, reading comprehension, pretty much everything), but I have also taken classes alongside Japanese students, allowing me to gain a grasp on how the Japanese education system works. I have taken Japanese culture, English literature, Language Acquisition, and language courses such as Korean and Japanese Sign Language. Not only did these classes teach me new information, they enabled me to raise my opinion and carry on discussion in Japanese. I experienced what it was like to look at old information in a new language, and to learn a new language though one I was more proficient in. I have pushed my limits and realized I could do things that I could never have imagined when I first began learning Japanese.

**Andrew Wilson Tuck**  
University of Alabama  
U.S.A.

### **Nick DeLannoy**

University of Illinois at Chicago  
U.S.A.

My year in Japan on the J-PAC program was honestly one of the best years of my life thus far. As soon as I got there, I wished I never had to leave! I did so many new things and met so many amazing new friends from all over the world that I will never forget it! As for the classes, everything was great! All of the teachers were really nice and funny, and they made the classes even more interesting. I was able to take plenty of Japanese language classes as well as tons of great cultural education classes. I learned a lot about not only Japanese culture, but many other cultures as well. It was a great experience to study with Japanese students and get good Japanese conversation practice in my bilingual classes. I think J-PAC really changed my life for the better. Now that I'm back in America, I'm working as hard as I can to graduate early and start hurrying back towards Asia!

The time I spend with the J-PAC students is always full of discoveries. In courses such as 'Japanese Studies,' where Japanese and J-PAC students learn collaboratively about topics related to Japanese culture and society, I came to realize that certain behaviors and social trends, which I thought were obvious for people living in Japan, were in fact not that evident for others. This realization often allowed me to see Japanese culture from a whole new perspective. Outside of class, I had the chance to chat casually with J-PAC students at places like the 'English House.' Learning and explaining about each other's country was interesting and challenging at the same time, but it helped break down the stereotypes that I held towards some cultures. And I hope that this was the effect on my interlocutors too. This year, I'm the tutor of one of the J-PAC students, and using my experience I wish to help him get a deeper understanding of Japan and spend a fruitful time during his stay here.

**Munetoshi Hayashi**  
Undergraduate  
Faculty of Letters  
Chiba University

## ブラツェヤク・ウテ

デュッセルドルフ大学  
ドイツ

私は千葉大学で色々な授業に参加し、新しい経験がたくさんできました。日本語の授業では日本語能力を上達させることができ、日常生活の中で日本語を使うことに自信を得ましたが、色々な国から来た人と一緒に勉強したり、話し合ったりすることで、日本だけではなく他の国の文化や習慣や生活などに関しても学んだことはもっと面白かったです。

私は二言語の授業にも参加しました。授業では、学生達は他人の国と自分の国の特徴と習慣と文化を比べ、評しました。前に知らなかった色々なことを学び、自分の見方も時々変化しました。授業はいつも賑やかで、楽しかったです。他の国の学生とともに学び、美しい思い出をたくさん作ることができ、その国に関してもっと知りたいという思いが湧いてきました。

J-PACのプログラムで私は成長し、世界への見方も積極的になったと思います。J-PAC生と日本人の学生と千葉大学の皆さんと一緒に過ごした時間を決して忘れられません。

日研究生として千葉大学で一年間の勉強ができて、本当によかったと思います。特に特別研究Ⅰ・Ⅱに参加することで、充実した日々を送ることができました。

国の大学ではゼミに入ったり長い論文を書いたりする経験がなかった自分にとっては、何かを研究することはきわめて難しく、自分にはできないことだと思っていましたが、この一年間、授業に参加している先生と留学生たちと何回も同じテーブルを囲んで、自分の考えを言ったり、皆と話し合ったりして、難しいこともだんだん楽しめるようになりました。勿論、肌で日本の文化を感じる絶好のチャンス—教室の外の生活も素晴らしいです。校内の多彩なサークル、グループ活動、言語交流ボランティアから、校外のホームステイ、工場見学、バスツアーなどまで、いろいろな活動を体験することで、日本の文化とはなにか、そして、自国の文化とはなにかに対する認識を新たにすることができました。皆さんもぜひ、好奇心や観察意識を持って、この一年間を満喫してください。

## 張洋子

日本語・日本文化研修生  
湖南大学  
中国

## シスワン・マユリ

日本語・日本文化研修生  
カセサート大学  
タイ

私はJ-PAC生として千葉大学で1年間過ごしてきました。今考えてみると、日本に生活している間にいつの間にか自分の考えが変わったことに気づきます。はじめ私は、留学できたからには日本でたくさん日本について学びたいと思っていました。しかし、留学生活が始まると、周りには日本人だけではなく、様々な国からJ-PAC生として来た友達がたくさん集まっていました。そして初めて気づきました。「私は日本だけに接しているのではない」と。フランス、アメリカ、インドネシア、キルギスなど世界の様々なところから来ている仲間たちと交流していること、日本の文化だけでなく、他の国の人たちの文化や考えも学べることに、J-PACのほかの学生も気づいたと思います。一年間は短かったです。短かったからこそ毎日意味のある生活をすごせたと思います。私は千葉大学に留学したことを後悔していません。むしろ「国際的」である楽しさを味わえて本当に嬉しかったと思っています。

私は今、J-PAC生たちと一緒に楽しく授業を受けています。授業内容は、日本文化を探るグループワークです。日本文化というと源氏物語、四季の行事、日本食などを想像する人が多いと思います。もちろんそれらも、日本を理解するうえで大切な日本文化です。ですが「アニメキャラクターを用いた神社の広告」「お寺といえはお葬式の場所」「なにかと謝罪が多い」「おしゃれのための入れ墨には抵抗がある」などの事柄もまた、すべて日本文化です。私たち日本人学生も、当たり前すぎて気づかなかったことに目を向け、新鮮な気持ちでJ-PAC生たちと日本について学んでいます。

参加者全員が自分の経験や考えを自由に表現し、協力しながら授業を作ります。様々なバックグラウンドを持つ学生たちの独特な観点が、何気ない会話の中でどんどん飛び出してくるのが魅力です。私はJ-PAC生との交流を通して、日本を多角的に捉える視点を養うことができました。

## 熊田 真弓

千葉大学  
文学部  
学部生



# JAPAN PROGRAM AT CHIBA APPLICATION FORM

## 2016 - 2017

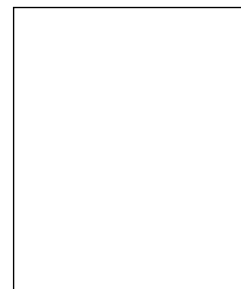
### 千葉大学短期交換留学プログラム2016 - 2017年度申請書

Please fill in this application by typing in English block letters clearly.  
Also affix a recent photograph of yourself. Write your name on the back of the photo.  
(記入は英語でタイプして下さい。最近撮影した写真の裏に姓名を記入の上貼付して下さい。)

Which program are you applying for? (申請するプログラムに☑を入れて下さい。)

☐ International Liberal Arts Program (国際教養プログラム)

☐ Japanese Studies Program (日本研究プログラム)



1. Name in full shown on your passport (パスポートのとおりに姓名を記入して下さい。)

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_  
(Surname) (Other names)

Sex (性別)

☐ Male (男)

☐ Female (女)

Name in katakana (カタカナで姓名を記入)

\_\_\_\_\_ (セイ) \_\_\_\_\_ (メイ)

Name in full, in Chinese characters, if applicable (漢字で姓名を記入)

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_  
(Surname) (Other names)

2. Nationality / Citizenship (国籍) \_\_\_\_\_

3. Date of birth (生年月日) \_\_\_\_\_  
Year (年) Month (月) Day (日) Age (年齢)

4. Mailing address (連絡先) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Phone number (電話) \_\_\_\_\_ E-mail address (電子メール) \_\_\_\_\_

5. Whom to notify in case of emergency (緊急時の連絡先)

\_\_\_\_\_

Phone number (電話) \_\_\_\_\_ E-mail address (電子メール) \_\_\_\_\_

6. Name of your present college / university (在学大学名) \_\_\_\_\_

Name of faculty / department (学部 / 学科名) \_\_\_\_\_

Your major field(s) of study (専攻分野) \_\_\_\_\_

Year in college (学年)

☐ First (1年) ☐ Second (2年) ☐ Third (3年) ☐ Fourth (4年) ☐ Others (その他)

7. What is your native language? (母語) \_\_\_\_\_

8. English Language Proficiency (英語運用能力)

- ☐ Native / Bilingual (母語 / バイリンガル)      ☐ Advanced (上級)  
☐ Intermediate or lower (中級以下)

Non-native speaker of English, whose Japanese language ability has not reached the level 2 or N2 of Japanese Language Proficiency Test and English language ability is lower than intermediate, should submit the results of TOEFL, IELTS etc.

(日本語能力が日本語能力試験2級またはN2レベルに達しておらず、英語を母語としない学生のうち、英語運用能力が中級以下の人はTOEFL, IELTSの結果などを添付。)

9. Japanese Language Proficiency (日本語運用能力)

Have you ever learnt Japanese in an institute? (日本語を教育機関で学んだことがありますか?)

Yes \_\_\_\_\_ No \_\_\_\_\_

If yes, please give the details below. (もし学んだことがあれば、それについて詳しく教えてください。)

Name of institute (教育機関名)	Title of textbook (使用した教科書名)	Hours per week for years (週何時間、何年)	Hours in total (合計で何時間学習したか)
e.g. (例) Chiba University	Minna no nihongo	6 hrs / wk for 1 year	250 hours

If you have learnt Japanese by other means, describe it briefly.

(他の手段 - 自習など - で日本語を学んだ場合は簡単に説明してください。)

If you have ever passed a Japanese Language Proficiency Test by the Japan Foundation, write down the level you passed. (日本語能力試験に合格した場合は級またはレベルを書いてください。)

10. Name and title of person who will submit letter of recommendation (推薦者の氏名 / 所属)

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

11. Have you ever studied in Japan? (日本で勉強したことがありますか。)

Yes \_\_\_\_\_ (Details \_\_\_\_\_) No \_\_\_\_\_

12. Indicate your proposed period of study at Chiba University. (留学を希望する期間)

- ☐ October 2016 ~ August 2017      (2016年10月 ~ 2017年8月)  
☐ October 2016 ~ March 2017      (2016年10月 ~ 2017年3月)  
☐ April 2017 ~ August 2017      (2017年4月 ~ 2017年8月)

13. This question is only for those who are applying for the Japanese Studies Program.

(この質問には日本研究プログラムへの応募者だけ答えてください。)

13-1. Will you apply for the Japanese Government (MEXT) Scholarship (Nikkensei)?

(文部科学省の奨学金、日本語・日本文化研修留学生への推薦を希望しますか。)

Yes \_\_\_\_\_ No \_\_\_\_\_

13-2. This question is only for those who have answered “No” in question 13-1. Will you apply for a JASSO scholarship?

(13-1の質問に「No」と答えた人だけ答えてください。JASSO奨学金を希望しますか。)

Yes \_\_\_\_\_ No \_\_\_\_\_

13-3. This question is only for those who have answered “Yes” in question 13-1 or 13-2. Will you participate in the Japanese Studies Program if you do not receive either scholarship?

(13-1、13-2に「Yes」と答えた人だけ答えてください。奨学金が得られなくても、私費で日本研究プログラムに参加しますか。)

Yes \_\_\_\_\_ No \_\_\_\_\_

14. This question is only for those who are applying for the International Liberal Arts Program.

(この質問には国際教養プログラムへの応募者だけ答えてください。)

14-1. Will you apply for a JASSO scholarship?

(JASSOの奨学金を希望しますか。)

Yes \_\_\_\_\_ No \_\_\_\_\_

14-2. This question is only for those who have answered “Yes” in question 14-1.

Will you participate in the International Liberal Arts Program if you do not receive a JASSO scholarship?

(14-1の質問に「Yes」と答えた人だけ答えてください。JASSOの奨学金が得られなくても、私費で国際教養プログラムに参加しますか。)

Yes \_\_\_\_\_ No \_\_\_\_\_

15. Have you applied for and been promised any scholarships other than the JASSO scholarship? If you have, please write the name of the scholarship and the monthly stipend.

(JASSO以外の奨学金を得る予定がありますか。奨学金の名前と月額を書いてください。)

---

---

16. Have you applied for any other academic programs in Japan? If you have, please list the programs you have applied for.

(J-PAC以外の日本留学プログラムに応募していますか。応募している場合はプログラム名を書いてください。)

---

---

17. Please write your plan of study.

(学習計画書に記入してください。)

18. Please describe your health condition on a separate sheet if there are any points you think we should know.

(あなたの健康状態について、私たちが知っておくべきことがあれば別紙に書いて提出してください。)

I hereby certify 1) that the information provided above is complete and accurate; 2) that if accepted by the program, I shall abide by the rules and regulations of Chiba University and the laws of Japan.

(私は上記記載事項に相違のないことを確認し、本短期留学プログラムに合格した場合は、千葉大学の諸規則および日本の法律を遵守することを誓約します。)

Signature of applicant (申請者署名): \_\_\_\_\_

Date (年月日): \_\_\_\_\_

# Plan of Study

## 学習計画書

学生氏名 ( Full Name) \_\_\_\_\_

在籍大学名 (University) \_\_\_\_\_

参加希望プログラム (Program you are applying for)

☐ 国際教養プログラム (International Liberal Arts Program)

☐ 日本研究プログラム (Japanese Studies Program)

\* 日本語または英語で記入すること。Please write in Japanese or in English.

1. どうしてJ-PACに参加しようと思いましたか。あなたの専門、将来のキャリアとの関係から応募の動機を書いてください。

Why do you wish to apply for the J-PAC program? How do you think your participation in the J-PAC will enrich your current study and help your future career?

2. 日本語の習得以外に、どのような専門分野に関心がありますか。コース・ディスクリプションやウェブ上のシラバスを見た上で、千葉大学で勉強したい分野について、詳しく書いてください。複数の分野について書いてもかまいません。

Please state the areas of academic interest other than Japanese language alone you wish to study at Chiba University (multiple answers possible). Please answer in detail.



3. 留学が終わって帰国したら、千葉大学での勉強をどのように生かしたいと思っていますか。  
How do you think your study and experience at Chiba University will be beneficial to you?

☐ 千葉大学で勉強したことをもとに、卒業論文をまとめる。  
I will write my graduation thesis based on my study at Chiba.

☐ 千葉大学で履修した授業の成績を持って帰り、卒業や進級に必要な単位にする。  
I need my Chiba University credits transferred in order to graduate.

☐ その他 ( )  
Others

4. 大学卒業後の予定  
What are your plans after graduation?

5. すでに在籍大学で専門の学習や研究を始めている学生で、千葉大学において専門の教員から直接個人指導を受けることを希望する人は、指導を受けたい研究分野または研究テーマを書いてください。入学後、できるだけ専門分野の指導が受けられるように配慮します。ただし、千葉大学にその分野の研究者がいない場合など必ずしも希望どおりにならない場合があるので予め承知しておいてください。

If you are already enrolled in specialized courses at your home institution and want to be supervised by a Chiba University teacher in your area, please describe the academic area in which you want to be supervised or describe your research topic. We will do our best to fulfill your wish. However, you should note that you may not be able to receive such supervision if there are no teachers in your specific area.

**J-PAC**  
**Letter of Reference**  
**(Confidential)**

Please write in English or Japanese. If your native language is Japanese, please write in Japanese. After completing this form, please place it in a sealed envelope marked "Confidential" and return it to the candidate for inclusion in his / her completed application.

Name of Applicant\_\_\_\_\_

Name of Referee\_\_\_\_\_

Occupation, Title, Field\_\_\_\_\_

University\_\_\_\_\_

Phone number\_\_\_\_\_ E-mail address\_\_\_\_\_

How well, how long, and under what conditions have you known the candidate?

	<u>Top 5%</u>	<u>Top 10%</u>	<u>Top 20%</u>	No opportunity to observe
Intellectual ability				
Motivation and seriousness of purpose				
Ability to plan and execute study objectives				
Future promise in his / her field				
Emotional stability and maturity				
Adaptability to new situations				
Initiative and leadership qualities				
Relationship with peer group				

Please fill in the other side.

The Selection Committee is particularly concerned with the candidate's motivation, character and sense of responsibility, and whether you feel this is an appropriate time for him/her to study in Japan.

Signature\_\_\_\_\_

Date\_\_\_\_\_

Thank you for taking the time to fill in this form.

# Certificate of Japanese Language Proficiency by a Japanese Language Instructor

## 日本語教員による日本語能力証明書

学生氏名 \_\_\_\_\_

在籍大学名 \_\_\_\_\_

日本語か英語で書いてください。（日本語を母語とする方は、日本語をお願いします。）

上記の学生は、日本語能力試験の基準を目安とした場合、 レベルに相当する日本語能力を有することを証明します。

1. 以下の日本語の運用能力について4段階で評価をお願いします。

	1 問題なくできる	2 大体できる	3 少しできる	4 困 難
①日常生活面で適切な日本語を使って行動できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②自分が興味のある一般的な話題で会話を続けることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③専門分野の基礎的な文献が理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④専門分野の講義が理解できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤専門分野のディスカッションに参加できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥専門分野のレポートを書くことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 学生の日本語能力および学習態度に関するその他の所見

作成年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

記載者所属 \_\_\_\_\_

職 名 \_\_\_\_\_

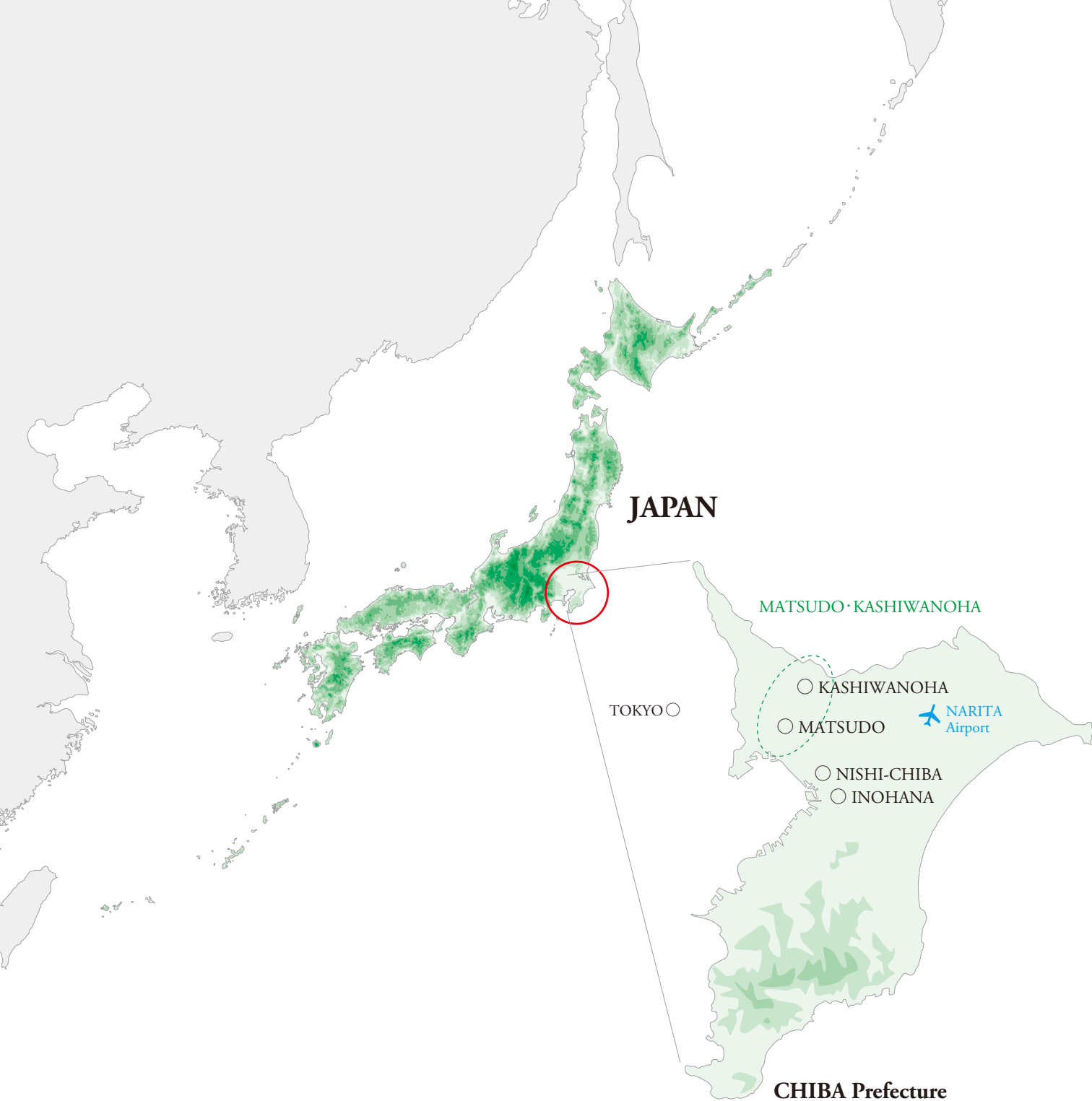
氏 名 \_\_\_\_\_

署 名 \_\_\_\_\_



J-PAC  
Japan Program At Chiba  
International Student Exchange  
2016-2017

Publication: CHIBA UNIVERSITY  
Design & Printing: SUISHODO BTL CO.,LTD.  
Cover Design: Kazuma Harada



**For more information or application forms  
for the J-PAC, please contact:**

Japan Program At Chiba  
Chiba University

1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba-shi, Chiba, 263-8522 JAPAN

Fax: 81-43-290-2198

E-mail: [jpac@office.chiba-u.jp](mailto:jpac@office.chiba-u.jp)

<http://www.chiba-u.ac.jp/>